跳び箱を使った運動遊びにおける目指す動き(第1学年、第2学年)

予・くま歩き・アザラシ歩き・かえるの足打ち・うさぎ跳び

○踏み越し跳び



片足で踏み切って、跳び箱に跳び乗ったり ジャンプして跳び下りたりする。



第

学

年

<着地>

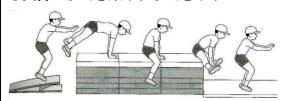
膝をやわらかく使って 着地する。手を着いてよい。

☆遊びの工夫

- マットに線を引き、遠くに着地する競争。
- ・ いろいろな姿勢で跳び下りる動きを見付 け、真似をして遊ぶ。

(空中で手を叩く、足や手を広げるなど)

○支持でまたぎ乗り、またぎ下り



- ・ 数歩の助走から両足で踏み切り、跳び 箱に両手を着いてまたぎ乗る。
- ・ またいだ姿勢で腕を支点に体重を移動 させてまたぎ下りる。

3

<着手>

手をパーにして、上から 「パン」と音がするように。

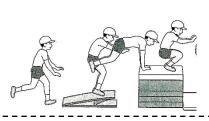
<またぎ下り>

跳び箱を押すようにして、 腕を支点に体重移動する。

③・くま歩き・アザラシ歩き・かえるの足打ち・うさぎ跳び

○支持で跳び乗り、跳び下り

・ 数歩の助走から両足で踏み切り、跳び箱に両手をついて両足で跳び乗ったり、ジャンプ して跳び下りたりする。



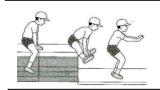
ジャンプして跳び下りる。

¦☆ 両足で踏み切り、両手をついて跳び乗る ¦ 動きを増やして遊ぶ

- ・片膝を立てて乗る。
- ・両足を着いて乗る。

☆新たな場所で挑戦する。

・跳び箱を高くする。・ステージに跳び乗る。



またぎ乗りの姿勢になり、 腕を支点に体重移動する。

<踏み切り>



- ・ 踏み切り板の手前から片足で跳び、両足を揃えて踏み切る。
- 左右の足を閉じて、「トン」という音が1回であればよい。
- ・ 踏み切りの位置が手前になり過ぎないようにする。



※ 両足を揃えて踏み切ることができない児童には、ロイター板の 上でのジャンプを繰り返し行って感覚を身に付ける。

第二学年

跳び箱運動における目指す動き(第3学年、第4学年)

切り返し系

倒立技

- 予・かえるの足打ち・うさぎ跳び・馬跳び・平均台を使った横跳び越し
 - ・セーフティーマットへの体の投げ出し・ステージへの跳び乗り

<場の条件>・腰の高さと同じくらいか少し低い跳び箱で。

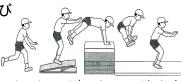
○開脚跳び

第

Ξ

学

年



・ 助走から両足で踏み切り、脚を左右に 開いて着手し、跳び越え、膝をやわらか く使って着地する。

(手をマットに着いてもよい。)

☆条件を易しくした場

- ・ 箱型や縦の長さが短い跳び箱
- ・ 横向きに置いた跳び箱
- ロイター板を使って

☆跳び越せない児童のための練習の場



腕を支点にして 体重移動。腕支持 感覚を養う。 〇台上前転

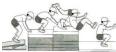


・ 踏み切り板に乗り、跳び箱の手前部に 着手した状態で数回跳びはね、台上で前 方に回転しながら着地する。

☆条件を易しくした場

- マットを重ねた場
- ソフト跳び箱の1段目をとって横幅 を広くした場
- ・ ソフト跳び箱
- ・ 台上にマットをしいた跳び箱
- ・ 踏み切り位置を高くした場







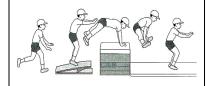
<着手:ラインつきの跳び箱を使って>

- ・ 開脚跳びは、奥に着手。パンッと音がするように突き放す。
- ・ 台上前転は、手前部両端をつかむように着手する。

予・かえるの足打ち・うさぎ跳び・セーフティーマットへの体の投げ出し

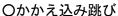
ステージへの跳び乗り

○開脚跳び



・ 助走から両足で踏み切り、 脚を左右に開いて着手して 跳び越え、膝をやわらかく 使って着地する。

☆ 自分の力に応じて 高さや向きを選んで 取り組む。





助走から両足で踏み切って着手し、足を抱え込んで 跳び越しをする。

☆段階的な練習

- ①1段をうさぎ跳びで跳び 越し。マットは跳び箱と 同じ高さにする。
- ②跳び箱の段を増やすとともにマットを重ね、着地点を高くして抵抗感を軽減。慣れてきたら着地点を少ずつ 低くする。

〇台上前転



・ 助走から両足で踏み切り、 腰の位置を高く保って着手 し、前方に回転しながら体 を開いて着地する。

☆体を引き上げる練習の場



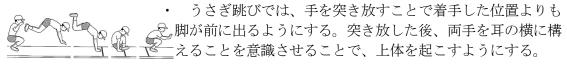
助走はせずに、 着手した状態で 腰が跳び箱より 高くなるように その場で跳ぶ。

第四学年

跳び箱運動における目指す動き(第5学年、第6学年)

回転技

- 予・かえるの足打ち・うさぎ跳び・低い跳び箱を続けて跳び越し
 - ・ステージへの跳び乗り・セーフティーマットへの体の投げ出し



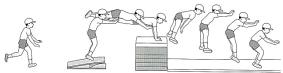
| <場の条件>

・腰の高さと同じくらいか少し高い跳び箱で。

〇安定した開脚跳び

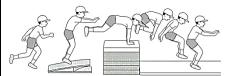
・ 助走から踏み切り、着手、着地まで、 一連の動きとしてスムーズに跳び越える。

〇大きな開脚跳び



・ 助走から両足で強く踏み切り、脚を 左右に開いて着手し、強く突き放して 跳び越える。

〇かかえ込み跳び



助走から両足で踏み切って着 手し、足を抱え込んで跳び越し をする。

☆大きく跳び越す動きを試す場



・ 調整板を入れ、第1 空間局面を大きくする。 ・ 線を引いたマットを 使い、第2空間局面の 大きさを意識させる。

予・かえるの足打ち・うさぎ跳び・ステージへの跳び乗り

・ 支持した状態からその場で跳躍 (腰を高く上げる)

〇安定した台上前転

助走から回転して着地まで、一連の動きとしてスムーズに跳び越えること。

〇大きな台上前転

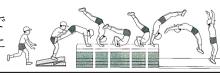
- ・ 助走から両足で強く踏み切り、腰を大きく開くとともに膝を伸ばした姿勢 で着手し、台上で回転して着地をする。
- 回転の際も腰角を大きく開き、 膝を伸ばした状態を保つ。

発首はね跳び

・ 勢いよく体を開くとともに力強く両手で 突き放して空中にはね出し、体を伸ばした まま着地する。



ステージ上 から大きな前 転でゆっくり下りる。





第六学

年

第

五

学

年